

## 02

## 皇學館みらい対話団

皇學館  
みらい対話団

皇學館みらい対話団では主に伊勢志摩地域の課題を題材に、多様な人達が集い地域の未来について対話する場をつくる活動を行っています。月に1回程度の学生主導によるフューチャーセッションを通して場作りや対話の進め方などを学びながら、多様な人々と地域の課題解決について考え合います。

前期は6月8日に最初のフューチャーセッション(第13回)を行いました。テーマは「みなさん広報紙読んでいますか?」でした。ファシリテーターは文学部国史学科の2年の服部慈樹(よしき)さんでした。彼の問題意識として広報紙は必要なのだろうか、今紙媒体ってどうなのだろうかということがありました。そこからこれからの広報、ミライの広報について考えることとなりました。

セッション当日は三重県の全市町村の広報を取り寄せ、その広報を見てそれぞれで気づいた点をまとめ、グループでミライの広報を作っていました。それぞれのグループの個性が出て、彼の問題意識が様々な人の多くの気づきにつながる場となりました。

活動名：皇學館みらい対話団

メンバー数：7名

活動場所：伊勢市

実施主体：なし

担当教員：池山 敦（教育開発センター）

Web：<https://www.facebook.com/miraitaiwadan>

活動年度：H27 H28 H29 H30

みらい対話団ではセッションに向けた準備として定期的にミーティングを開いています。第13回の「みなさん広報紙読んでいますか?」のセッションに向けたミーティングではメンバーで手分けをして市役所に連絡を取り広報誌を集める、当日のセッションのタイムスケジュールについて話し合うなどしました。

前期には新メンバーも数名加わり、学部学科が異なるメンバーが増えました。そのため、これからはより違った視点からさまざまな地域の未来に関するテーマでの対話の場、セッションを行っていききたいと思います。



▲ 広報紙取り寄せ準備作業中



▲ 第13回セッション「みなさんは広報紙を読んでいますか」（6月8日）